

# 病害虫発生予察注意報第2号

## (平成28年7月7日)

病害虫名 せん孔細菌病

1 発生作物 もも

2 発生地域 大阪府全域

### 3 発生の状況

7月6日のももの巡回調査(泉州・南河内地域)では、せん孔細菌病の発生が多く見られ、発病果率は平均10.9%と高く(予察巡回地点では過去5年において発病果は認められず)、風当たりの強い園地などの一部で、多発ほ場も認められた。

表1 せん孔細菌病の発生状況(調査日:7月6日)

調査地点	発病葉率(%)	発病果率(%)	発病ほ場数/調査ほ場
河内長野市 小山田町	5.0%	5.0%	1/2
岸和田市 包近町	9.2%	13.2%	5/5
平均値	8.0%	10.9%	6/7
【参考】平年値	8.9%	0.0%	—

### 4 せん孔細菌病の生態等

- 葉や果実の気孔や傷口から侵入する。
- 風当たりの強い園地で発生が多くなる。
- 降雨が多いと発病しやすく、暴風雨を受けた後は特に多くなる。

### 5 防除対策

- (1) 伝染源となる発病枝、発病葉、発病果実は速やかに除去する。
- (2) 病原菌は葉や果実の自然開口部(気孔)、傷口から侵入するため、風当たりの強い園地では、防風ネット等を設置する。
- (3) 薬剤防除を行う際は、収穫前日数に十分に注意し、また、収穫期間中のももに農薬が飛散しないように十分に注意すること。

表2 せん孔細菌病の主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
スターナ水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内
バリダシン液剤5	500倍	収穫7日前まで	4回以内
チオノックフロアブル	500倍	収穫7日前まで	5回以内



図1 発病葉



図2 発病果実

◎防除薬剤については、

- Web 版大阪府病害虫防除指針

(<http://www.jppn.ne.jp/osaka/shishin/shishin.html>)

- 農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム

([http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm))